

夏本番

竿燈に燃える！ 秋田男の熱い魂。



この時期になると、毎年ながら体が熱くなってきました。練習は一か月くらい前からですが、みんな年中、竿燈のことを念頭に置いて、まつりを盛り上げる準備をしています。人の知らないところでいろんなことを手がけているかたがたが、とても重要な存在です。今年には二百二十八本の竿燈が上げられます。秋田の夜空に舞う光の稲穂をじっくりとご覧ください。

祭気質の血がさわぐ 年に一度の晴れ舞台

秋田市竿燈会 堀祐一会長



光の稲穂よ、天まで届け

竿燈まつりは、江戸時代、真夏の病魔や邪気を払う「ねぶり流し」の行事と五穀豊穡の願いを込めて始められたとされます。

竿燈(大若を手のひら、額、肩、腰などに乗せてバランスをとる差し手の妙技は今も昔も見る者を魅了します。「力四分に技六分。上げるまで三年、極めるには一生かかる」とまでもいわれる竿燈の奥義。

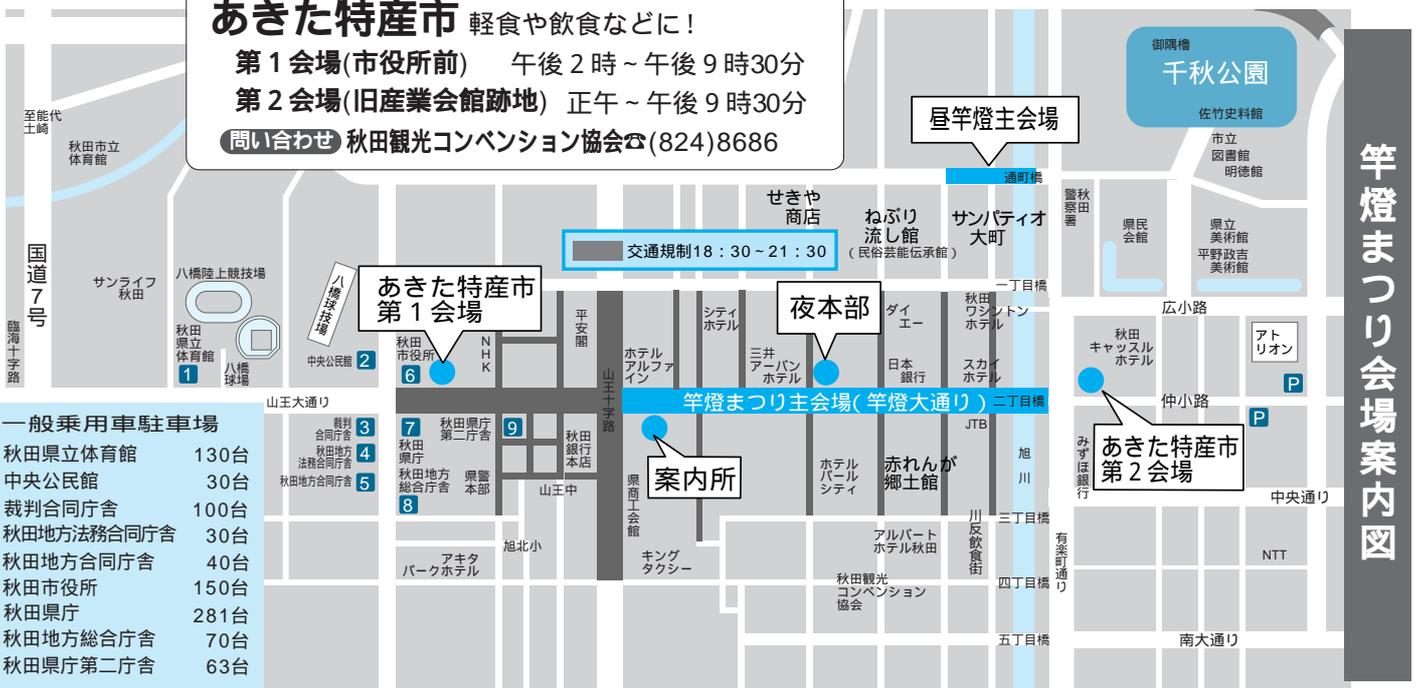
一本の竿燈にみんなの願いを込めて、天へ、天へとさしだします。

あきた特産市 軽食や飲食などに！

第1会場(市役所前) 午後2時～午後9時30分

第2会場(旧産業会館跡地) 正午～午後9時30分

問い合わせ 秋田観光コンベンション協会 ☎(824)8686



一般乗用車駐車場

1	秋田県立体育館	130台
2	中央公民館	30台
3	裁判合同庁舎	100台
4	秋田地方法務合同庁舎	30台
5	秋田地方合同庁舎	40台
6	秋田市役所	150台
7	秋田県庁	281台
8	秋田地方総合庁舎	70台
9	秋田県庁第二庁舎	63台

駐車時間：午後5時30分～10時

バスの迂回運行 竿燈期間中の交通規制により、竿燈まつり会場(二丁目橋～竿燈大通り～山王大通り県庁西交差点)と、昼竿燈会場(通町橋～せきや商店前)を通過する路線バスは時間帯により迂回運行となります。交通局管理課 ☎(862)3892 秋田中央交通 ☎(823)4413